

あきる野市



町内会・自治会
連合会 会報

発行者／小山 正弘
編集／あきる野市
町内会・自治会連合会
広報部会

町自連



夏まつり風景

61

令和7年秋季号

第61号

2025年、地域に広がる **花いっぱい!** **ふれあいもいっぱい!**

7月4日に「道路部門」6地区「公園・広場部門」8地区の審査に立ち会いました。全地区5月25日に苗の植え付けを行い6月の猛暑から梅雨の少雨を乗り越えて審査日をむかえました。どの地区も本年の天候に「昨年も大変だったが今年はそれ以上」とお話されていました。各地区取り組まれている姿を拝見し順位をつけることが申し訳なく感じられました。

道路部門



金賞

二宮町内会 (二宮本宿交差点東側)

会長 杉本 秀志

どの方角からも目に留まるスケール感と彩り、「あきる野にきた」と印象付ける交差点の花壇です。高低差を上手く利用して花選びをしていてそれぞれの花の主張が強く感じられた。



銀賞

三内自治会 (三内中央通り)

会長 宮岡 順一

通勤通学や散歩、三内地区のメイン通りの花壇です。狭さを逆手に立体的にプランターの段飾りで工夫を凝らしていた。作業通路も作成し周辺に土が出ないように配慮されていた。



銅賞

西ヶ谷戸町内会



大阪万博「ミャクミャク」は見事

花いっぱい運動・花壇コンクール審査会
猛暑に苦戦！
皆さんの頑張りに拍手

公園・広場部門



金賞

富士見台自治会 (北公園)

会長 石原 繪理子

市制30周年の大きな数字のお花に迎えられ、北公園の中に大きな花壇、数字の脇を固める花壇の花たちも鮮やかに隙間なく彩っていた。



銀賞

雨間町内会 (鳥居場会館駐車場)

会長 森田 勝

中央最上段に見事な赤いベゴニアをアーチ状に黄色い花が囲み、中段、最下段と裾野が広がるように白、ピンク一帯が盛り立てていた。観察帳にも記録がしっかりと書かれていた。

小中野自治会 (雪沢公園)

会長 小林 賢司

道路や歩道から見える下段は高低差を生かし立体的、散歩する方にも癒しの花壇です。その立地ゆえ大雨で土砂が流れないように「竜の髭」を対策として植えていて気遣いが見て取れた。



平沢町内会

毎年工夫してデザインを更新



銀賞



あきる野夏まつり

8月2日に恒例の「あきる野夏まつり」が開催されました。町自連ではブースを設置し加入促進活動を行いました。ロゴマークがプリントされた法被も定着したようで役員の着こなしもしっかりしてきました。行き交う子供連れの家族に、色とりどりの風船を、資料とともに手渡ししながら、広報活動を行いました。風船は毎年大好評で手渡す方も思わず笑顔になってしまいます。楽しく活動できたことが何より一番ですね。



上代継町内会 会長 志村 修司

盆踊りで老いも若きも集い盛大に！

上代継町内会は加入世帯数101の西秋留地区で一番小さい町内会です。それだけに会員相互の連帯感が強く、総会は55～60%の出席率、長寿を祝う会は約50%の参加率です。

また、小学生のいる若い世帯の加入率は約30%と低いのですが、行事の時にはPTAも積極的に焼き鳥や焼きそばを担当し、一斉清掃の時には子供達の遊ぶ公園の清掃をしています。そして年配の方々の長寿会も元気で、土曜日にグランドゴルフ、木曜日に輪投げやカラオケ等を実施し、健康促進と交流を図っています。



また組長さんの負担軽減のため、義援金や募金は資源回収の収入を当て一律20,000円にする等の工夫をしています。

そんな上代継町内会も7月26日実施の盆踊りでは自前の櫓を組み、老いも若きも集い盛大に行いました。

中平自治会

あえてアナログ！「掲示板」を考える

自治会内にある掲示板は3か所。行政からの配布物やポスター、自治会内のイベントお知らせなど常に更新して貼り替えてはいますが、はたしてどれくらいの方々が見ているのでしょうか。

今回、掲示板に「なぞなぞ」の問題を掲示してみました。掲示期間は1週間、正解回答者にはちょっとした賞品を用意して指定場所に来ていただくことにしました。

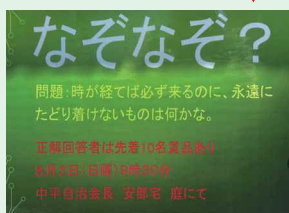
結果としては2家族6名が来てくれて全員正解して賞品をお持ち帰りいただきました。子供たちがたくさん来ることを期待しましたが、夏休みで登下校がないことや大人と高齢者の方からも「見たよ」とか「問題が難しい」などお話しはお聞きしたのですが、猛暑の中、回答の指定場所に出かける気にはならなかったようです。

「こたえはね…」



この「なぞなぞ」は電子回覧板でも同時にインフォメーションしていました。こちらの閲覧記録では17件と全世帯の1割弱の結果となりました。「もっと目を引く工夫が必要」とのお声もいただきました。

せっかく既存するアイテムである掲示板。今後も不定期に仕掛けてみようと考えています。



大塚自治会

「加入者シール」を作成

大塚自治会（120世帯）では加入者のお宅がわかるように「加入者シール」を作成し表示しています。

この度、会長の石関さんとデザインを担当した鶴田さんにお話をお聞きました。



● 作成を決めた理由は

石関さん：集金や回覧配布を行う班長さんから、「会員さんの家が同姓の場合わかりづらい」とのご意見をいただき、混乱を避け班長さんのストレスを軽減したく発案しました。

● シールの大きさデザインについて

鶴田さん：まず喜んでこのシールを貼りたい人はいないのではないかと考え、家のエクステリアを邪魔しないような、控えめだけどすぐ見つけられるような形状と色合いを試作を重ねこのデザインに至りました。

● シールを貼る場所は指定されましたか



石関さん：基本的には玄関先の見えるところで、ドアやポストに貼ることをお願いしました。貼ることは強制ではなく会員さんの判断で構わないことはお伝えしました。

● 制作した業者は

石関さん：数社検討し、地元の印刷会社をお願いしました。

● シールを貼った効果は

石関さん：以降は業務的なクレームはなくなりました。

● 会員さんはシールを貼ったことでどのようなお気持ちになったと思われますか

鶴田さん：この地域に越して5年ほどですが、散歩の際シールを貼っているお宅を見つけると何となく安心感があります。会員さんも「静かな仲間意識」を感じられているのではないかと思います。

今回の取材で町内会自治会加入のメリットとして、連帯感や安心感を提供できる方法はまだあると思いました。会員さんのご意見も良き方向へ進めることができるメッセージととらえていくことが必要と感じました。

(取材者 広報部会員 安部 光記)